

10月のアルミスクラップレポートおよび11月の見通し

橋本金属×アルミ 橋本健一郎氏

予測レンジがLME現物後場買いは

1800-2100ドル

スクラップは据え置きから-3から-10円
(前月最終価格より)

■概況:前半は注目の米ADP雇用レポートの雇用者数が16万2千人と予測の14万人を上回ったことや失業保険申請件数が33万9千件と予測を3万件下回るなどプラス材料はあったがIMFのラガルト総裁が日中関係の悪化について懸念を示した事や世界経済の見通しについて下方修正したことを嫌気、1976ドル(現物後場買い)と約120ドル暴落しての前半締めとなった。

後半も米鉱工業生産指数が+0.4%と予測を上回った事や中国HSBCのPMI指数が49.1とこちらも予測を上回ったものの9月の中国生産者物価指数が-3.6%と7か月連続前年割れし、欧州PMI指数も45.3と予測以下だった事から引き続き下落。9月2日現在、LME(現物後場)は1910ドルと66ドル下落のスタートとなった。

■前月の経済指標:日本自動車工業会によると自動車生産台数は前月比+5.2%の77万3990台であった。日本自動車販売協会連合会によると自動車販売台数(軽除く)は前月比-21.8%の22万5543台(前年比-9%)。国土交通省による

と新設住宅着工戸数は前月比(季節調整済み)+15.3%(昨年比-2.5%)の7万4176戸であった。

また貿易指標では、財務省貿易統計によれば輸出はアルミ新地金が前月比+60.4%の231t、2次合金が+32.5%の1116t、スクラップが+17%の11820t。輸入は新地金が前月比+4.2%の15万5940t、2次合金が-23.1%の7万5827t、スクラップが-11.2%の576t、合金スクラップは+7.9%の2945tとなった。

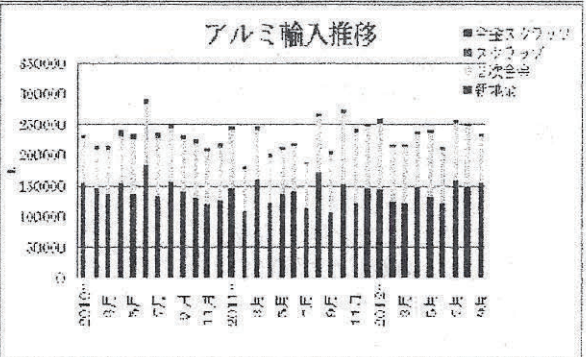
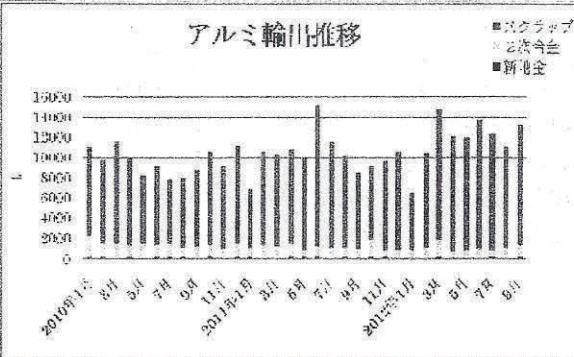
更に前月の国内指標を見ると、日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産出荷動向によれば板類・押出生産合計は前月比-12.6%の16万2137t(昨年対比-0.4%)。日本アルミニウム合金協会発表のアルミニウム2次合金・同合金地金等生産実績は前月比-9.3%の6万5484t(昨年対比-7.4%)であった。

■見通し:今月は自動車生産、販売共にほぼ二桁悪化、住宅関連は先月の悪化から回復横ばい基調。欧州懸念は結果的にスペインが救

	7月	8月	9月
生産台数	92万 2685台	73万 5999台	77万 3990台
前月比	+3.3%	-20.2%	+5.2%
昨年対比	+16.7%	+4.5%	-12.4%
	8月	9月	10月
販売台数	23万 2372台	28万 8478台	22万 5543台
前月比	-29.2%	+24.1%	-21.8%
昨年対比	+7.3%	-8.1%	-9%
	7月	8月	9月
新設住宅着工	7万 5421戸	7万 7500戸	7万 4176戸
季節調整 前月比	+4%	+2.1%	+15.3%
昨年対比	-9.6%	-5.9%	-2.5%
	7月	8月	9月
輸入	15万 9293t	14万 9617t	15万 5940t
新地金	+32.8%	-6%	+4.2%
前月比	9万 4763t	9万 8646t	7万 5827t
2次合金	+4.1%	+4.1%	-23.1%
前月比	496t	649t	576t
スクラップ	-27.8%	+30.8%	-11.2%
前月比	2690t	2729t	2945t
合金スクラップ	-4.9%	-1.5%	+7.9%
前月比			

加藤キミ子氏(東京非鉄金属商工協同組合元理事・大田城南支部、(株)日黒金属商会代表取締役加藤義実氏のご母堂)11月6日に逝去。享年92歳。通夜は11月11日(日)午後6時より、告別式は11月12日(月)午前10時より11時まで、場所は桐ヶ谷斎場・1F鶴の間(東京都品川区五反田5-32-20)。喪主は長男の義実氏。

輸出	7月	8月	9月
新地金	164t	144t	231t
前月比	+40.4%	-12.2%	+60.4%
2次合金	631t	842t	1116t
前月比	-24.6%	+33.4%	+32.9%
スクラップ	11524t	10101t	11820t
前月比	-9.5%	-12.3%	+17%



カーから購入し備蓄することを発表する見通し。この備蓄買い、2008年のリーマンショック後に08年末から09年初頭にかけて行なわれた以来で、今回は需要減で売上が低迷しているメーカー救済策の一環と相場の下支えのためとしている。

為替相場は、米大統領選を終えた後、いったんはドルの買戻しが入ったが同国の「財政の崖」問題への懸念が浮上、ユーロや株が大きく売られる展開となった。質への逃避から米債が活発に買われ、米長期金利の低下に伴ってドル円も下落し、TTSは前日比0.21円高・ドル安の80.97円となった。

なお、NYカーブ(現物換算)はLME先物比33.50ドル高で、これらをもとにした国内採算値は前日比1万2,200円安の65万2,900円となった。

この日は、1万円の下げ含みになったこともあり、市中は様子見姿勢がおおく見られた。ある大手問屋では「今日は問い合わせの電話もない」とし、オバマ氏再選で一時的な銅相場上昇のあとの急落に、売り手が手控えているのではと話した。また別の問屋では、米国株が大幅下落、日本の株式もほとんどの業種で下落しているのを受けて「(銅相場への影響を考え)売り手もタイミングを見ている。現代は情報も豊富だし、皆、条件は同じ」という声も聞かれた。

直納問屋筋によるロット物(5トン前後)の希

望価格は、ピカ線は56万5,000円～57万円、またその他の品種はそれぞれ、上銅新のうちタブピッチや無酸素銅などは54万円～54万5,000円、並銅は49万円～49万5,000円、込銅(高品位=約97%)は46万円、セパは39万円～39万5,000円、コーペルは要り用筋で33万5,000円あたりでそれ以外は32万円、黄銅削粉も同様に要り用筋で32万5,000円あたりでそれ以外は29万5,000円～30万5,000円どころの値ごろとなり、並青銅鋳物削粉は41万5,000円～42万円どころ。

小口の市中相場(1トン前後)はピカ線55万円～56万5,000円、上銅新くず52万5,000円～54万円、普通上銅49万5,000円～51万円、2号銅線47万円～49万円、並銅47万円～49万円、込銅(94～97%)44万5,000円～47万円、込銅(90～93%)42万円～44万5,000円、下銅38万円～42万円、セパ37万円～39万円、コーペル27万5,000円～32万円、黄銅棒地27万円～31万5,000円、黄銅削粉26万5,000円～31万円、黄銅ラジエター22万6,000円～23万4,000円、交叉ラジエター28万3,000円～29万4,000円、黄銅鋳物26万1,000円～26万8,000円、同山送り17万3,000円～19万4,000円、上青銅鋳物42万6,000円～44万6,000円、並青銅鋳物40万6,000円～42万1,000円、上青銅鋳物削粉42万1,000円～44万1,000円、並青銅鋳物削粉39万6,000円～41万6,000円どころの様子。

アルミ2次合金メーカー買値実勢値

(1トン程度・置場・現金・キロ当たり円)

関東地区 (10月後半)

2S=144円～147円、63S=144円～147円、アルミホイール(1P)=140円～146円、ビス付サッシ=124円～127円、エンジンコロ=122円～129円、込合金(機械鋳物)=112円～118円、缶プレス(ソフト)=102円～106円

関西地区 (10月後半)

2S=138円～145円、63S=136円～143円、52S=127円～134円、印刷板=141円～148円、アルミホイール(1P)=139円～144円、ベースメタル=161円～171円、機械鋳物=103円～112円、ダライ粉=89円～99円、ビス付サッシ=106円～112円、缶プレス=94円～104円

1号 ピカ線

高価買取ます

 **杉本金属** 株式会社

〒556 大阪市浪速区桜川4-9-21

TEL(06)6561-9071(代)

FAX(06)6567-3648